

きらり

市川茂子

夢ぬちにあばれいるらし真夜覚めて腓返りの痛みをさする
こむらがえ

目覚めしな吐く息かそけき気持して今日の命を確かめていつ

連日のニュースはコロナと戦争よ使い捨てマスク取り替えながら

芽吹きくる木々をかすめて春の風夕べの月はうすらに残る

結婚を知らせに来たるちいちゃんの婚約指輪きらり輝く

近く住むちいちゃんお嫁になるという幼日の笑みうかびて嬉し

寺の庭連れ立ちて行く昼下りシオカラトンボ目の前よぎる

草むらを飛び出す庭のアゲハ蝶右往左往し陽の中に消ゆ

今にして色紙いろがみ工作漢字読みデイサービスの脳トレ時間

気兼ねなく老醜さらし思うままデイサービスの一日を過ごす